

# 5音で弾けちゃう! ジャズ/フュージョン・ ギター

著・演奏 宮脇俊郎

ジャズやフュージョンのギター……ロックやブルースと比べると“難しそう〜”というイメージが強いジャンルですが、実はそれも覚え方次第。5つの音からなるスケールであるペンタトニック・スケール（略してペンタ）を起点にしていけば、無理なくマスターしていくことができます。ジャズ/フュージョン系の人気ギタリストたちの個性的なスタイルを題材に、ペンタトニックを用いながら、さまざまなスケールを自然に体得できる本書を用いれば、カラフルなソロ・ワークを無理なく身につけることができます。ペンタを使ってジャズ/フュージョン・ギターが弾けちゃうようになりましょう！

---

## *Introduction*

---

心ときめかせ聴いたジャズ／フュージョン・ギター。タブ譜を見ながら一生懸命コピーしたものの、いざアドリブしようと思ったらマイナー・ペンタ一発で弾けるブルースとは異なる複雑なコード進行に遭遇、ミス・トーンを連発して撃沈した経験はありませんか？

ジャズ理論の素養があれば紐解けそうだけど、そこまではしんどいなあ……とあきらめていたオシャレなフレージングも、実はたった5音のスケール（ペンタトニック）+  $\alpha$  的発想で生み出されたものが多いのです。普通なら A マイナー・ペンタ一発で弾けるところを、あえて E マイナー・ペンタで弾くことでコード感満点のソロになったりと、ジャズ／フュージョン・ギターのアプローチにはいろいろあります。またコンディミやらオルタード 7th スケールといったややこしそうなスケール群も、ペンタのポジションを元に覚えてしまえば、ここぞというときにカッコ良くかつ簡単に！ 繰り出せるようになるものです。

ペンタはギターを人の声のごとく歌わせるという点で奥深いものがあり、それをあくまでも軸にすえながらもオシャレな音使いなどもできるようになる……本書はそんな内容を目指してみました。各章には名ギタリストたちのプレイの特徴を、ペンタという視点から解説しています。あの憧れのギタリストはどうやってコード進行にアプローチして弾いているのか、サウンド作りも含めて、その奥義をぜひマスターしてってください！

2015年7月

宮脇俊郎

# 5音で弾けちゃう! ジャズ／フュージョン・ギター

## CONTENTS

序章 ペンタトニック・スケールについて ..... 7

### 第1章 憧れのド真ん中ジャズ／フュージョン

CD Track  
カッコ内はカラオケ演奏

- 1 16ビート・フュージョン  
ラリー・カールトン風のよどみない流麗なソロ ..... 18 01 (26)
- 2 クロスオーバー系フレーズ  
ジェフ・ベック風の表現力を感じるソロ ..... 22 02 (27)
- 3 美麗トーンのジャズ／フュージョン  
エリック・ジョンソン風の縦横無尽ソロ ..... 26 03 (28)
- 4 コードの流れを完璧トレース  
高中正義風のメロディアス・フレーズ ..... 30 04 (29)
- 5 8ビート・ベーシック・リズム  
マイケル・ランドウ風のスピーディに駆け抜けるソロ ..... 34 05 (30)
- 6 力強いロック的フュージョン  
スティヴ・ルカサー風のアウト感満点のソロ ..... 38 06 (31)
- Column ハンマリング&プリングの加減でギターを歌わせる ..... 42

### 第2章 ブルーじなジャズ／フュージョン

- 7 ブルース要素満点フレーズ  
ロベン・フォード風のいなたいフレーズ ..... 44 07 (32)
- 8 サンバのリズム  
カルロス・サンタナ風の泣きのソロ ..... 48 08 (33)
- 9 シンプルな繰り返して盛り上げる  
グラント・グリーン風の渋くジャジイなソロ ..... 52 09 (34)
- 10 カラフルで味のあるフュージョン  
ハイラム・ブロック風のウネったソロ ..... 56 10 (35)
- 11 複音を加えてジャジイに  
ケニー・バレル風ブルース・フレーズ ..... 60 11 (36)
- 12 メジャー&マイナー・ペンタをさりげなくミックス  
コーネル・デュプリー風の枯れたフレーズ ..... 64 12 (37)
- Column ペンタ vs. 複雑なスケール ..... 68

### 第3章 ジャズ色の濃いフレーズ

CD Track

カッコ内はカラオケ演奏

- 13 王道的ジャズ  
マイク・スターン風のウネウネ・フレーズ ..... 70 **13 (38)**
- 14 クロマチック多用  
ジョージ・ベンソン風のドライブ感満点なソロ ..... 74 **14 (39)**
- 15 3種のペンタを切り替える  
スコット・ヘンダーソン風のアウト感満点ソロ ..... 78 **15 (40)**
- 16 コンディミ使いとピッキングの妙  
ジョン・スコフィールド風ウネウネ・アウト術 ..... 82 **16 (41)**
- 17 オクターブ奏法によるジャズ  
ウェス・モンゴメリー風のブルージなアプローチ ..... 86 **17 (42)**
- Column ペンタでやってしまいがちなフレーズ ..... 90

### 第4章 ジャンル自在なジャズ/フュージョン

- 18 ポップな雰囲気のパラード  
リー・リトナー風の律儀な歌い直しソロ ..... 92 **18 (43)**
- 19 オブリガートを駆使したフレーズ  
デイヴィッド・T.ウォーカー風の歌の合間にきらめく珠玉のフィルイン ..... 96 **19 (44)**
- 20 パラードでの泣きのフレーズ  
ニール・ショーン風のメロディアス&ペンタたたみかけ ..... 100 **20 (45)**
- 21 日本フュージョンの最先端  
菰口雄矢風の“舞う”新感覚ソロ ..... 104 **21 (46)**
- 22 切れ味良くリズムカルに歌い上げる  
バズ・フェイトン風のコンテンポラリー・ソロ ..... 108 **22 (47)**
- 23 コード進行の間を縫うフレージング  
ジェイ・グレイドン風の考え抜かれたソロ ..... 112 **23 (48)**
- Column ロックにおけるジャズ/フュージョン的アプローチ ..... 116

### 付録 「5音でジャズ/フュージョン」な練習曲

- 「NOSTALGIC FOR THE 80's」 ..... 118 **24 (49)**
- 「CROSSOVER THE 80's」 ..... 122 **25 (50)**

# 本書の構成と見方

文●編集部

本書の第1章～第4章では、ジャズ／フュージョンの分野で名高い23人の参考ギタリストを取り上げ、それぞれ4ページで解説しています。1から順に読み進める必要はなく、興味のあるギタリストから順不同で読んでいただいてOKです。

※項目によっては、一部変則的な構成になっている箇所もあります。

## 16ビート・フュージョン

### ラリー・カールトン風のよどみなない流麗なソロ

お洒落なコード進行に乗って、表情豊かに歌い上げるのがラリー・カールトンの魅力のひとつです。なかでも、16分音符主体にペンタトニック・スケールでスムーズに展開していくフレーズは真待頂と言えます。そのコツを学んでいきましょう。

#### 参考ギタリスト紹介

近年のカールトンは、ブルースへの傾倒ぶりが際立っていて、絶品のブルージなフレーズを聴くことができます。

ここでは1980年代にフュージョン・ギター界の第一人者としての地位を確立した2枚のアルバムを紹介。「夜の積穂」収録の「ルーム335」は説明不名の名曲です。

「夜の積穂」  
ラリー・カールトン

「夢飛行」  
ラリー・カールトン

#### ラリー・カールトンのフレーズの特徴

ハンマリング&プリングを駆使して音色を变幻自在に操るのがカールトンの真待頂。ここではAメジャー・ペンタを16分音符で上昇下降するフレーズを弾いてみましょう(下の譜例)。ピッキングは弦移動時のみで、あとはハンマリング/プリング、そしてスライドで音をつないでいきます。ピッキングの音をハンマリング/プリングよりも小さくするように弾くと、消らかなニュアンスが得られます。



18 5分音符16分音符 ジャズ・フュージョン・ギター

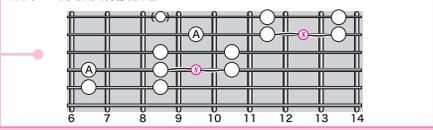
## 16ビート・フュージョン

### ここで使うペンタトニック・スケール

「ルーム335」は、キー=Aを主軸に転調を繰り返します。そこで使えるAメジャー・ペンタの頻用ポジションを練習しましょう。

カールトンのプレイで欠かせないのスライドなので、流麗に弾くには下図のようなスライド入りポジションがオススメ!

#### Aメジャー・ペンタのスライド入りポジション



#### ペンタとコードの関係について

Aメジャー・ペンタの構成音が、次ページの8小節フレーズに出てくるコードと比べてどのよう多数の音なのかを確認しておきましょう(右表)。特にA△7コード時にルート音であるA音を高い音で伸ばしてしまうと、メジャー・セブンス・コード特有のエレ

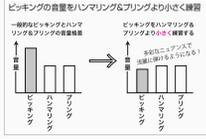
ガントきを消しやすいためポイントです。

Aメジャー・ペンタ	F	D	C△7	E	F#
D△7	5	13	△7	9	△3
E△9	4	5	6	7	9
Dm7	6	7	9	11	5
A△7	1	9	△3	5	13

Aメジャー・セブンスのイレガントさを消しやすくするので、高い音では長く伸ばさない

#### 流麗さを出すための表現方法

ピッキング音をハンマリング/プリング音よりも小さく弾くように心がけると、多彩な音色コントロール・テクニクが身につきます(右図)。MAXにリキんで「ベチッ」とピッキングするのは初心者でもできること。鋭い音から柔らかい音まで音色を変えられるスキルこそが、本来のピッキング・テクニクと言えます。



19

## 参考ギタリスト紹介

その項目で取り上げるギタリストの略歴や特徴を、代表的な作品とともに紹介しています。

## フレーズの特徴

その項目で取り上げるギタリストのフレーズの特徴を2小節に凝縮して解説しています。

## 難易度

3ページ目に掲載しているオリジナル・フレーズの難易度を示しています。取り上げたギタリストの技術的な優劣を表すものではありませんので念のため。

## ここで使うペンタトニック・スケール

その項目で主に登場するペンタトニック・スケールを、ポジション図も示して解説しています。

## ペンタとコードの関係について、他

ここでは、上で紹介したペンタトニック・スケールの補足説明を行っています。

# 5音で弾けちゃう! ジャズ/フュージョン・ギター

16ビート・フュージョン / カールトン・ジョンソン編のよどみない「流麗なソロ」 CD Track 01

ポイント1  
ポイント2  
ポイント3

20 5音で弾けちゃう! ジャズ/フュージョン・ギター

16ビート・フュージョン / カールトン・ジョンソン編のよどみない「流麗なソロ」

### フレーズの概要について

カールトンを思わせるコード進行に乗せ、**Aメジャー・ペンタ**で弾いたソロです。コテコテのブルージョなソロとは対極的な滑らかさは、ハンマリಂಗス/ブリングとスライド、グリスの多用によるところが大きいでしょう。またピッキングの強さもフレーズに応じて可変させ、いろいろな音色を引き出しています。**ペンタとは「人の声」的発想のスケール**なので、歌詞がないぶんだけ、表情豊かに歌い上げる必要があるのです。

#### ポイント1 ハンマリングスライドの連続技

ハンマリングとブリングを多用するのがカールトンの歌わせ方です。ポイント1のようなフレーズでは通常、小節の冒頭でピッキングした上でスライドしていくのが一般的ですが、カールトンはハンマリングスライドという動きを多用します(右図)。これにより、ピッキング音よりも甘いトーンでスライドすることになり、ホーンライクなニュアンスが得られます。ハンマリングの強さによっても音色が変わることに聴き耳を立ましょう!

ピッキング音と滑らかな音になる  
ハンマリングすると甘い音になる!

#### ポイント2 複音でメリハリを!

題所に複音を取り入れることによってメリハリを強めるカールトン流です。このポイントでは、**Aメジャー・ペンタで最も多用される複音**を取り入れています。試しに2弦を加えず3弦のみで弾き比べてみて、複音の効果を体感してみてください。ちなみにカールトンは指弾きも多用します。

ピックは持ったまま、ピッキングは使わずに中指&薬指で弦をハジくとタイトにキマることができそうです(写真参照)。

#### ポイント3 変則リズム・フレーズ

「8分音符→16分音符」という、16分音符換算で3個分のパターンで上昇していく変則的フレーズです(右図)。16分音符中心で拍アタマのみにフレーズを置いていくと、単調な羅列的印象になります。このフレーズのようにズレていくようなリズムで弾くと、スリリングさが増します。

16分音符3個分のリズムなのでスリリングに聴かせよう!

21

### 8小節のオリジナル・フレーズ

前2ページで解説した内容を踏まえて、そのギターストラしさを盛り込んだオリジナルの8小節ソロ・フレーズです。付録CDで模範演奏を聴けるほか、カラオケ演奏も収録しており、CDに合わせてバンド気分ギター演奏を楽しむこともできます。

### フレーズの概要について

左ページの8小節フレーズについての解説です。演奏する上での全体的な注意点にも触れています。

### フレーズ攻略ポイント×3

8小節フレーズで特に肝となるポイントを3つ挙げ、細かい解説を加えています。

さらに、本書のラストには少し長めの練習曲×2 (32小節/48小節) も収録。これらの模範演奏とカラオケも付録CDに入っていますので、ぜひ活用してください。

## 序章

# ペンタトニック・スケールについて

本書のタイトルであり、中心的テーマとなる「5音」とは5音のスケール、ペンタトニック・スケール（略称ペンタ）のことを指します。まずは本章で、そのペンタトニック・スケールの基本を説明しておきましょう。ペンタの特徴をしっかりと理解することで、その有効的な使い方も見えてくるはずです。ペンタに関して御存知の方も、おさらいの意味でぜひ読んでみてください。

## はじめに

本書は、**5音のスケールであるペンタトニック・スケール（以下ペンタ）**に徹底的にこだわり、ペンタからの視点によって他のスケールも見渡していくという内容になっています。それはペンタが、ロック、ブルースにとどまらずジャズやフュージョン・ギターにおいても中心的なスケールになっ

ているからです。

それだけではなく、複雑なスケールを駆使するギタリストも、ここぞ！というときにペンタ一発で弾きまくったりします。この章では、なぜ人はペンタでギター・ソロを弾くのか、その理由と魅力について学んでいきましょう。

## ペンタとは？

まず、ペンタという言葉の意味から確認しておきましょう。ペンタは数を表わす接頭語の1つで、ギリシャ語に由来しています（表1）。ペンタが5というのは、アメリカ国防総省の建物が上から見ると五角形でペンタゴンと呼ばれていることから、イメージしやすいと思います。そういえば昔、

NHKの子ども向け番組『いないいないばあ！』にペンタというサブキャラがいて、見事に星型でしたね。

というわけで、まずペンタ=5つであること、そして**ペンタトニック・スケールとは、構成音が5個からなる音階である**ということを理解しておきましょう。

表1 ペンタを含む、数を表わす接頭語 ※右枠は関連する用語の例

1	モノ	mono	モノレール（線路が1本）	6	ヘキサ	hexa	クイズ！ヘキサゴン
2	ジ	di		7	ヘプタ	hepta	
3	トリ	tri	トリオ、トライアングル	8	オクタ	octa	オクトパス（タコ）
4	テトラ	tetra	テトラポッド	9	ノナ	nona	
5	ペンタ	penta	ペンタゴン（五角形）	10	デカ	deca	デカスロン（10種競技）

## ペンタがアドリブに最適な理由

構成音がペンタという5種類であること、それが即興（＝アドリブ）に深く関係していると言われています。図1は、音数の例とアドリブのしやすさの相関図です。音数が1個だと、モールス信号のように音の高さのバリエーションがありません。しかし2個でも、いささか種類が少なすぎますね。

ギターのフレットを0～12 f まですべて使うと、12個の音が得られます。この12個をすべて使ってアドリブを弾けと言われたらどうでしょうか？ 今度は音数が多すぎ

て、なにがなんだか意味不明のデタラメなソロに陥るのは目に見えています。

そこで5つの音＝ペンタなのです。図2を見てください。人間が即興的にコントロールできる音数が約5個であること、これが重要なポイントです。つまり5個くらいの音数だったら、鼻唄気分で適当に歌えば音楽的なメロディになるということ。このことから、ギター・ソロのアドリブがペンタと密接に関係していることがわかってきます。

図1 アドリブと音数の関係

音数 = 1	音数 = 2	音数 = 12	音数 = 5 (ペンタ)
(ド)	(レ)  (ド)	(ラ) (ラ#) (シ) (ファ#) (ソ) (ソ#) (レ#) (ミ) (ファ) (ド) (ド#) (レ)	(ラ)  (ソ) (レ) (ド)
音程の変化がない	音程の変化が乏しい	音数多すぎ!!	コントロールしやすい

図2 アドリブにおけるペンタの意味

ペンタは音数が  
5個と少ない



人間が即興的に  
コントロール可能



鼻歌気分でも適当に  
弾いてもサマになる!

## ペンタトニック・スケールの種類

音数が5個であれば、それすなわちペンタトニック・スケールと言えます。図3はペンタトニック・スケールの代表的なものを示しています。なんとなくなぞるだけで、シークワサーが飲みたくなったり、演歌を歌いたくなったりすると思います。

世の中にはこの他にもいろんなペンタトニック・スケールがあって、ギター・ソロ

でよく使われるメジャー・ペンタ、マイナー・ペンタもその中の1つなのです。

ここでのポイントは、沖縄音階、演歌音階というペンタトニック・スケールも、**適当に弾くだけでなんとなく音楽として成立するという容易さ**にあります。これが12個の音数からなる半音音階だと、こうはうまくいきません。

図3 代表的なペンタトニック・スケール

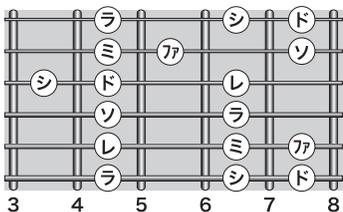
<メジャー系スケール>

	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ
Cメジャー・スケール	1	9	△3	11	5	13	△7
Cメジャー・ペンタ	1	9	△3		5	13	
沖縄音階	1		△3	11	5		△7

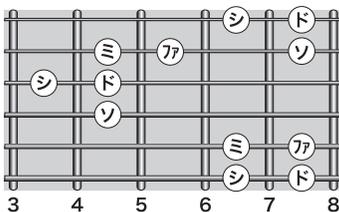
<マイナー系スケール>

	ラ	シ	ド	レ	ミ	ファ	ソ
Aマイナー・スケール	1	9	m3	11	5	♭13	m7
Aマイナー・ペンタ	1		m3	11	5		m7
演歌音階	1	9	m3		5	♭13	

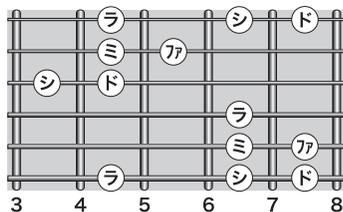
Cメジャー・スケールのポジション



沖縄音階のポジション



演歌音階のポジション



## ロック、ブルースに適したペンタ

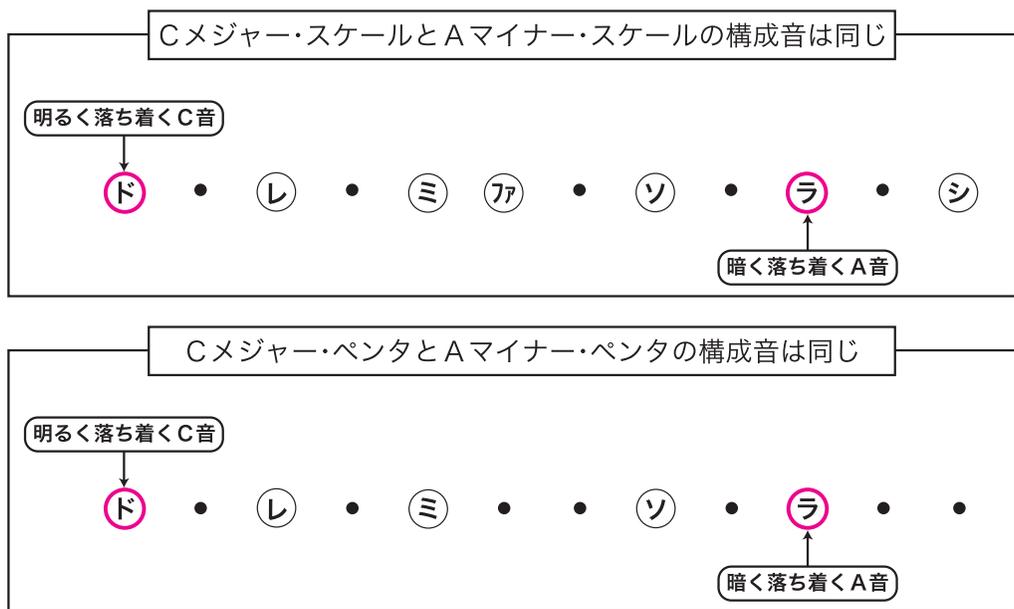
ロック、ブルースではメジャー・ペンタ、マイナー・ペンタが最もよく使われます。

図4を見てみましょう。Cメジャー・ペンタとAマイナー・ペンタが**まったく同じ構成音**になっていることに注目してください。これは、Cメジャー・スケールとAマイナー・スケールが同一の構成音であることと同じです。Cメジャー・スケールには、

落ち着いた音としてC音（明るく落ち着いた）とA音（暗く落ち着いた）の2種類あるということをまず理解しましょう。

そして、そこからファ（F音）とシ（B音）を間引くと、Cメジャー・スケールはCメジャー・ペンタに、Aマイナー・スケールはAマイナー・ペンタになると覚えておいてください。

図4 Cメジャー・ペンタとAマイナー・ペンタ



## ファとシを抜くとミス・トーンが出にくくなる？

Cメジャー・スケールからファとシの音を間引いたのがCメジャー・ペンタです。

図5を見てみましょう。ここで注目したいのは、Cメジャー・ペンタには**半音間隔がない**ということです。key=CでドミソからなるCコードが鳴っているとき、もしファやシの音を弾くと、半音間隔でCコードとぶつかります。でも、ここでファとシを

あらかじめ省いたCメジャー・ペンタで弾いていけば、その危険性を回避できるわけです。

そのことを考えて人工的に作ったわけはありませんが、Cメジャー・ペンタで弾くとミス・トーンをあまり気にせず弾けてしまうのはそんなところも関係している、と思っておいてください。

図5 Cメジャー・ペンタには半音間隔がない

	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ
Cメジャー・ペンタ	1	9	Δ3	✕	5	13	✕
Cコードの構成音	1		Δ3		5		

Cメジャー・ペンタにはファとシの音がないのでドミソで構成されるCコードとぶつかりにくい！

## マイナー・ペンタとブルース・ペンタの関係

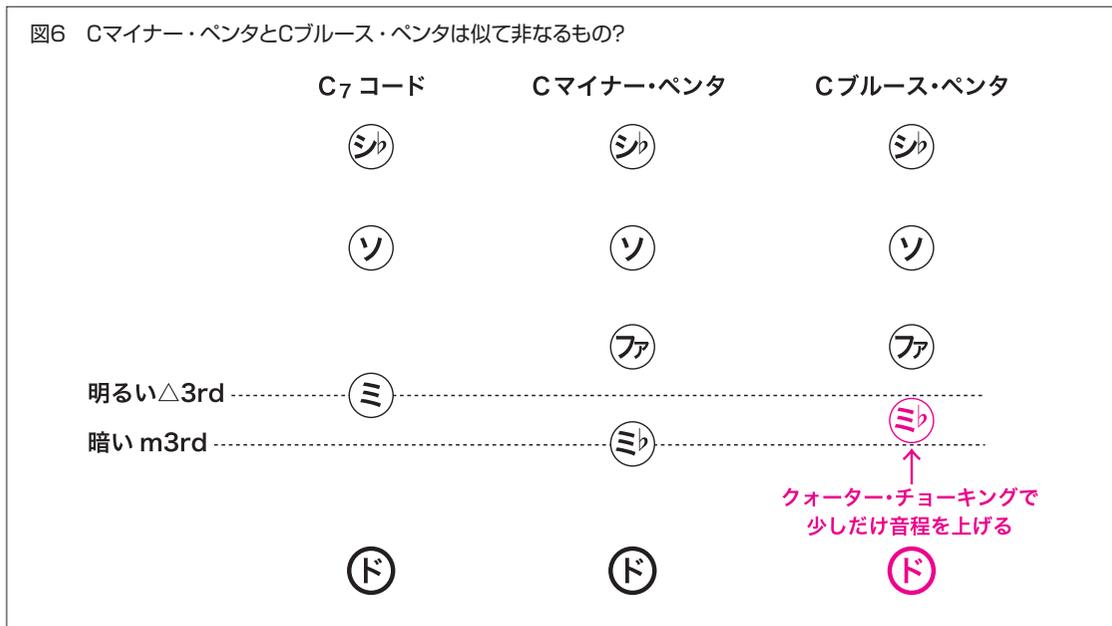
key=CのブルースでC7時にCマイナー・ペンタを弾くのは、ブルースにおける最も基本的なアプローチだと多くの人は認識しています。しかしそれは、正確にいうと間違いかもしれないのです！

図6では、C7コードとCマイナー・ペンタの構成音を比較しています。ここで注目してほしいのは**Δ3rd (メジャー・サード)**。コードでは明るいΔ3rdが鳴っているのに、Cマイナー・ペンタではm3rd (マイナー・サード) という暗い音が構成音です。ギタリストは、このm3rdをほんの少し持ち上

げるクォーター・チョーキングというテクニクで弾きます。つまりm3rdの音程を上げていけば、それはもはやマイナー・ペンタではないのです。

最もぴったり合った呼び方は、**Cブルース・ペンタ**です。これならクォーター・チョーキングも問題ありません。半音区切りという単位でのスケール名としては、マイナー・ペンタは最も近似だということで、ブルース・ペンタのことをマイナー・ペンタと呼んでいます。他のスケールとの比較や混合などもしやすいからだと思います。

図6 Cマイナー・ペンタとCブルース・ペンタは似て非なるもの？



## ブルー・ノート (= <sup>b</sup>5th) の位置づけ

歌のように弾けるといことで構成音を5個に限定しているはずのマイナー・ペンタ。しかし、実はもう1音、**<sup>b</sup>5th と呼ばれる音**も含めて弾くことが多いのです(図7)。“5人目のビートルズ”とも言われたブライアン・エプスタインのように、<sup>b</sup>5th はペンタに次ぐ6番目の音？ それは違うようです。

<sup>b</sup>5th はあくまでもブルージョイスをかもし出すための装飾的な音使いの中で使われる音で、<sup>b</sup>5th を連発しすぎるとアクが強くと聴こえます(それを逆手にとったハード・ロック系ギター・リフは多数存在しますが)。というわけで、焼き鳥にひとふりする七味くらの塩梅の音だと思っておいってください。

図7 ブルー・ノートの位置付け



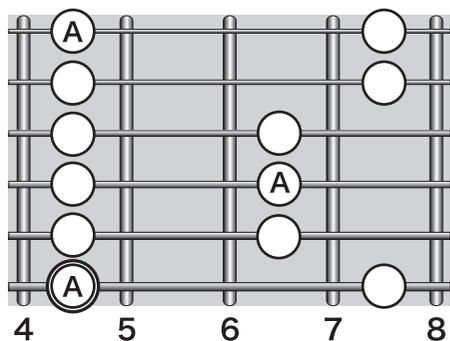
## ペンタの2大ポジション

ペンタの音は指板上のあちこちにありますが、ギター・ソロの多くは図8に示した2つのポジションで弾かれることが多いのです。これはチョーキングのしやすさやビブラートのかけやすさが大きく関係してい

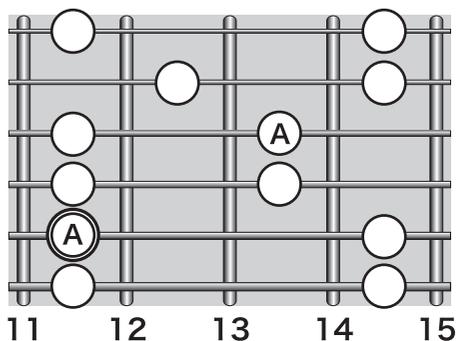
ると考えられます。通常はマイナー・ペンタの呼び名で暗記することが多く、そのついでに(?) **Aマイナー・ペンタはCメジャー・ペンタのことでもある**、と併せて覚えておきます。

図8 ギター・ソロの多くで使われるペンタのポジション

Aマイナー・ペンタの6弦ルート・ポジション



Aマイナー・ペンタの5弦ルート・ポジション



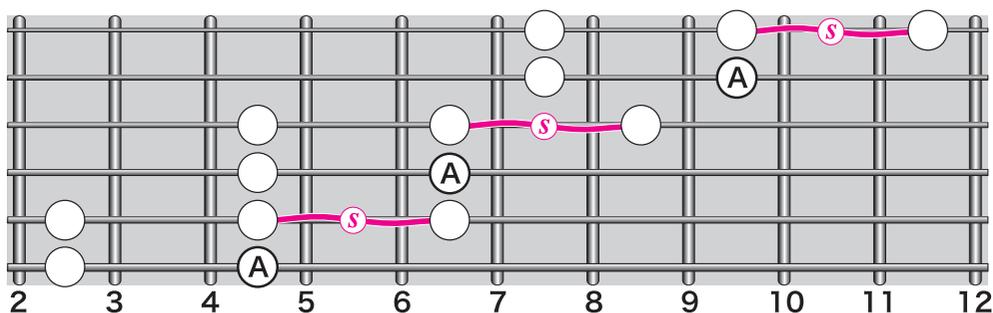
## ブルージー効果含有のスライド入りポジション

図9はペンタ2大ポジションをスライドによって左右に拡張したポジションです。本書ではこれをスライド入りポジションと呼んでいます。このポジションは、スライ

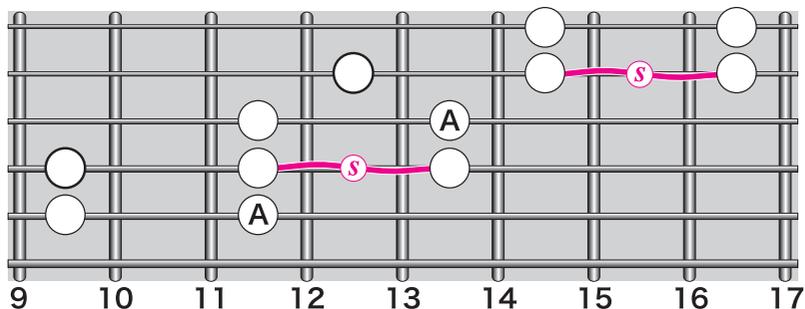
ドするところにブルー・ノート (b5th) が存在するのが最大の魅力です。図8のスライドなしポジションと弾き比べて、雰囲気の違いを確認してみましょう。

図9 ペンタのスライド入りポジション

### Aマイナー・ペンタの6弦ルート・スライド入りポジション



### Aマイナー・ペンタの5弦ルート・スライド入りポジション



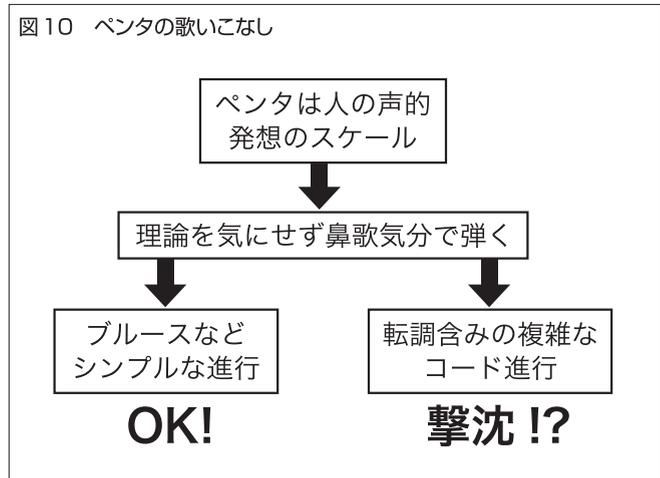
## ペンタは理論不要？

ペンタトニック・スケールはもともと人の声的な発想による音階です。ではここで **図10**を見ながら、ヴォーカリストがソウルなどの音楽で「いえ～い、いえいえ～♪」などとフェイクしているところを想像してみてください。「コレは Am コードにとって 5th、そして 11th へ下がる」などとあまり考えていないですよね？ それと同じで、ペンタのポジションで、フィーリングのおもむくままヴォーカリストのように弾けばうまくいくことが多いのです。

ただし！コード進行が転調含みなどペンタ一発で弾けないような場合は、撃沈必至とも言えます。ブルー

スの伝統的なスリー・コードでのソロは理論不要で、それ以外は気をつける必要があるかもしれない、というように覚えておくと良いでしょう。

図10 ペンタの歌いこなし



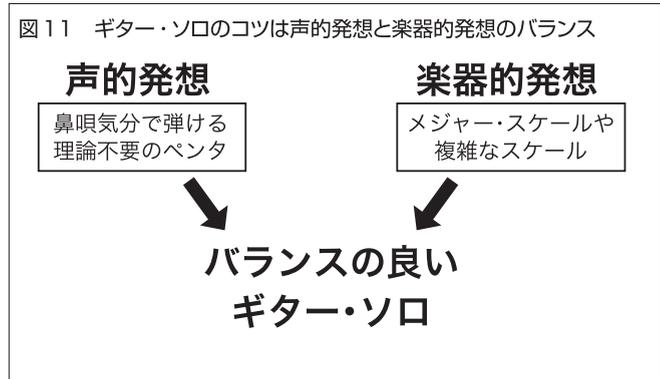
## 声的発想と樂器的発想の狭間でソロを考える

ペンタは声的発想で、チョーキングやビブラートを駆使できるギターは人の声に似た微妙な音程表現が可能です。だからこそ歌モノのソロでは、ピッチが半音単位に区切られてしまうピアノよりも、ギターの出番が多いと言えるのです。

ところがギター・ソロはペンタだけでなく、クラシカルな旋律のソロや複雑なスケールを行き来するようなものも数多く存在します (**図11**)。つまり人の声的発想のペンのソロと、樂器的発想のソロのバラ

ンスによって成立していることが多いのです。その両方を自由に行き来できるような表現・技術を会得できたら最高ですね！

図11 ギター・ソロのコツは声的発想と樂器的発想のバランス



5音で弾けちゃう!  
ジャズ/フュージョン・  
ギター

## 第1章

# 憧れのド真ん中ジャズ／フュージョン

まずは、ジャズ・フュージョン・ギターと言えどこの人！と誰もが納得するギタリストを取り上げ、ペンタを軸にそれぞれの特徴に迫ります。憧れの名演へ近づく道はここから！

# 16ビート・フュージョン

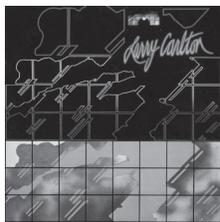
## ラリー・カールトン風のよどみない流麗なソロ

お洒落なコード進行に乗って、表情豊かに歌い上げるのがラリー・カールトンの魅力のひとつです。なかでも、16分音符主体にペントニック・スケールでスムーズに展開していくフレーズは真骨頂と言えます。そのコツを学んでいきましょう。

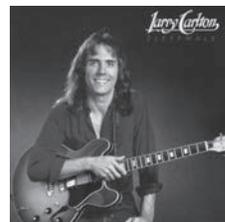
### 参考ギタリスト紹介

近年のカールトンは、ブルースへの傾倒ぶりが際立っていて、絶品のブルージなフレーズを聴くことができます。

ここでは1980年代にフュージョン・ギター界の第一人者としての地位を確立した2枚のアルバムを紹介。『夜の彷徨』収録の「ルーム335」は説明不要の名曲です。



『夜の彷徨』  
ラリー・カールトン



『夢飛行』  
ラリー・カールトン

### ラリー・カールトンのフレーズの特徴

ハンマリング&プリングを駆使して音色を変幻自在に操るのがカールトンの真骨頂。ここではAメジャー・ペントを16分音符で上昇下降するフレーズを弾いてみましょう(下の譜例)。ピッキングは弦移動時のみで、

あとはハンマリング／プリング、そしてスライドで音をつないでいきます。ピッキングの音をハンマリング／プリングよりも小さくするように弾くと、滑らかなニュアンスが得られます。

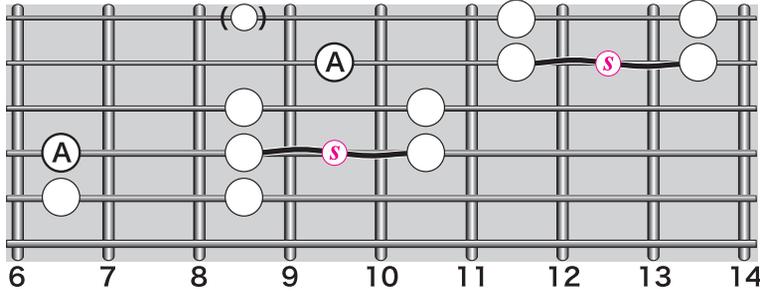
人 薬 人 薬 人 薬 薬 人 薬 人 中 人 薬 人 薬 薬 人 薬 人 薬 薬 人 中 人 薬 薬 人

## ここで使うペンタトニック・スケール

「ルーム335」は、キー=Aを主軸に転調を繰り返します。そこで使えるAメジャー・ペンタの頻用ポジションを練習しましょう。

カートンのプレイで欠かせないのはスライドなので、流麗に弾くには下図のようなスライド入りポジションがオススメ！

Aメジャー・ペンタの**スライド**入りポジション



### ペンタとコードの関係について

Aメジャー・ペンタの構成音が、次ページの8小節フレーズに出てくるコードにとってどのような度数の音なのかを確認しておきましょう(右表)。特にA△7コード時にルート音であるA音を高い音で伸ばしてしまうと、メジャー・セブンス・コード特有のエレ

ガントさを消失しやすいので避けるのがポイントです。

Aメジャー・ペンタと各コードの構成音との関係

Aメジャー・ペンタ	A	B	C#	E	F#
D△7	5	13	△7	9	△3
Esus4onC#	4	5	6	1	9
Bm7	m7	1	9	11	5
A△7	1	9	△3	5	13

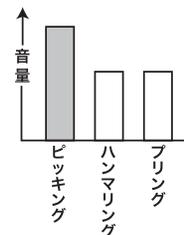
メジャー・セブンスのエレガントさを消失させるので、高い音では長く伸ばさない

### 流麗さを出すための表現方法

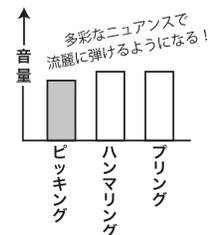
ピッキング音をハンマリング/プリング音よりも小さく弾くように心がけると、多彩な音色コントロール・テクニックが身につきます(右図)。MAXにリキんで“ベチッ”とピッキングするのは初心者でもできること。鋭い音から柔らかい音まで音色を可変できるスキルこそが、本来のピッキング・テクニックと言えます。

ピッキングの音量をハンマリング&プリングより小さく練習

一般的なピッキングとハンマリング&プリングの音量格差



ピッキングをハンマリング&プリングより小さく練習する



多彩なニュアンスで流麗に弾けるようになる!

# 16ビート・フュージョン ラリー・カールトン風のよどみない流麗なソロ

CD Track 01  
(カラオケ演奏は26)

**ポイント 1**

人 薬 人 薬 人 薬 人 中 人 中 薬

**ポイント 2**

人 薬 薬 人 薬 薬 人 中 中 中 薬 人 薬 人 薬 人

人 中 人 中 人 人 薬 人 薬 人 小 中 薬 薬 人 薬 薬 人 薬 薬 人 薬 人

**ポイント 3**

薬 人 薬 人 中 人 中 薬 中 人 薬 人 薬 人 薬 人 薬 人 薬

## フレーズの概要について

カールトンを思わせるコード進行に乗せ、**Aメジャー・ペンタ**で弾いたソロです。コテコテのブルージなソロとは対極的な滑らかさは、ハンマリング/プリングとスライド、グリスの多用によるところが大きい

でしょう。またピッキングの強さもフレーズに応じて可変させ、いろいろな音色を引き出しています。**ペンタとは「人の声」的発想のスケール**なので、歌詞がないぶんだけ、表情豊かに歌い上げる必要があります。

### ポイント1 ハンマリング→スライドの連続技

ハンマリングとプリングを多用するのがカールトンの歌わせ方です。ポイント1のようなフレーズでは通常、小節の冒頭でピッキングした上でスライドしていくのが一般的ですが、カールトンはハンマリング→スライドという動きを多用します(右図)。これにより、ピッキング音よりも甘いトーンでスライドすることになり、ホーンライクなニュアンスが得

られます。ハンマリングの強さによっても音色が変わることに聴き耳を立てましょう!

ポイント1

ピッキングすると硬めの音になる

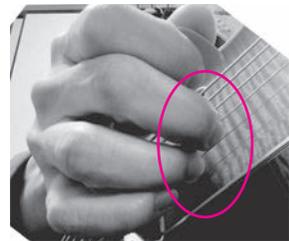
ハンマリングすると甘い音になる!

### ポイント2 複音でメリハリを!

要所に複音を取り入れることによってメリハリを施すのもカールトン流です。このポイント②では、**Aメジャー・ペンタ**で最も多用される**複音**を取り入れています。試しに2弦を加えず3弦のみで弾き比べてみて、複音の効果を体感してみてください。

ちなみにカールトンは指弾きも多用します。

ピックは持ったまま、ピックは使わずに中指&薬指で弦をハジくとタイトにキメることができます(写真参照)。



▲中指&薬指で複音を指弾き

### ポイント3 変則リズム・フレーズ

「8分音符→16分音符」という、16分音符換算で3個分のパターンで上昇していく変則的フレーズです(右図)。16分音符中心で拍アタマのみにフレーズを置いていくと、単調な羅列的印象になります。このフレーズのようにズレていくようなリズムで弾くと、スリリングさが増します。

ポイント3

16分音符3個分のリズムなのでスリリングに聴こえる!

## ロックにおけるジャズ／フュージョン的アプローチ

ロックの曲ではペンタを使ったギター・ソロが非常に多いのですが、ペンタだけで弾いているようでいて、実はコード進行に沿ってペンタ外の音を取り入れていることがあります。

**Ex-1** はジミー・ペイジ的アプローチです。key=Am ということでAマイナー・ペンタを使って弾き始めています。2小節目で伸ばしている5弦8fがファの音だということに注目してください。Aマイナー・ペンタはラドレミソから成るスケールなので、ファの音は存在していません。これは、2小節目のコードがF（ファラド）なので、それに合わせてファの音を取り入れたプレイだといえます。

**Ex-2** の (a) は通常の A マイナー・ペンタによるフレーズです。それに対して (b) は3弦9fのミの音を半音上げファの音に変えています。ファラドから成る F コードの感じがきっちり伝わるのは (b) です。このような例は数多く、たとえばイーグルスの名曲「ホテル・カリフォルニア」におけるギター・ソロは key=Bm ですが、E7時などでコード音の△3rd を意識したペンタ以外の音を盛り込んでいます。

この手のギター・ソロは、コード進行に沿って理論的に導き出したというよりも、なんとなく鼻歌的発想で作っていったら結果としてペンタ以外の音が入っていた、ということも多いようです。皆さんも、ペンタを中心としつつも時にはコード音を取り入れる、という柔軟な発想で歴史に残る名演を目指しましょう！

Ex-1 Fコードに合わせてAマイナー・ペンタにファの音を取り入れる

楽 人 小 人 楽 人 楽 人 楽 人 小 7f

Ex-2 (a) Aマイナー・ペンタによるフレーズ (b) Fコードに合わせてファの音に変える

Fコード	Aマイナー・ペンタ +ファの音
ド	ソ
ラ	レ
7f	7f
	ファの音を取り入れて弾く
	ド
	ラ

人 楽 人 中 人 楽 人 楽 人 楽 人 楽

5音で弾けちゃう!  
ジャズ/フュージョン・  
ギター

## 付録

# 「5音でジャズ／フュージョン」な練習曲

最後に、本書の総まとめとして練習曲を2曲用意しました。ポイントごとに記した解説を参考にしながら、ジャズ／フュージョンな気分で楽しくチャレンジしてみてください。



# 「NOSTALGIC FOR THE 80's」

ダイアトニック・コード主体のポップな曲調だが、部分転調などが要所に登場するので注意が必要！

**Intro.** D(onC) G(onB) A<sup>#</sup>dim Am7 H.C D

人 中 中 薬 人 薬 中

Am7(onD) D7

人 薬 小 人 薬 人 人 薬 人 薬 人 薬 人 中

**ポイント ①**

**A** GΔ7 Bm7

人 人 薬 人 薬 人 薬 人 人 中 人 薬 人 薬 人 薬

Am7 Am7(onD)

中 薬 人 人 中 人 薬 人 人 薬 中 人 薬 薬 人 薬 人 薬 人 薬 人 薬

**ポイント②**

人 人 薬 人 中 人 薬 中 人 中 人 薬 人 薬 人 小 人 中

人 人 薬 中 薬 小 人 中 人 小 中 小 小 人 中 人 小 中

**B**

薬 中 人 薬 人 薬 人 薬 人 薬 薬 中

**ポイント③**

人 小 人 薬 人 薬 人 薬 小 中 人 小 薬 中 人 小 人 小 薬 中 人

**ポイント①**……key=GゆえにGメジャー・ペンタといきたいところだが、GΔ7なのでG音をF#音に変更。ゆえにそれはBマイナー・ペンタということになる。

**ポイント②**……GΔ7に9thを加えたコード・アルペジオ。

**ポイント③**……Aハーモニック・マイナーにクロマチック音を加味したフレーズ。

著者プロフィール

**宮脇 俊郎** TOSHIRO Miyawaki

みやわき・としろう：1965年、兵庫県生まれ。23歳頃からプロ・ギタリストとしてセッション活動を開始。  
『最後まで読み通せる音楽理論の本』、『「ギターが下手」、原因の90%はリズム感』（ともにリットーミュージック刊）など、教則本／映像を多数手がけている。東京・練馬区にて自身のギタースクールを開講中。  
<http://miyatan.cup.com>

**Guitar**  
magazine

## 5音で弾けちゃう！ ジャズ／フュージョン・ギター

2015年7月28日 第1版1刷発行

定価（本体 1,800 円＋税）

ISBN 978-4-8456-2625-0

●発行所

株式会社リットーミュージック

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町一丁目105 番地

[ホームページ] <http://www.rittor-music.co.jp/>

[お客様窓口] 商品に関するお問い合わせ

リットーミュージック カスタマーセンター

TEL：03-6837-5017 / FAX：03-6837-5023 E-MAIL：info@rittor-music.co.jp

[書店・取次様窓口]

出版営業部 TEL：03-6837-5013 / FAX：03-6837-5024

●発行人

古森 優

●編集人

松本大輔

●編集長

小早川実穂子

●編集担当

杉坂功太

●編集／デザイン／DTP

studio130

●浄書

宮脇俊郎

●CD マスタリング

角 智行

●印刷／製本

凸版印刷株式会社

※本誌記事／写真／譜面などの無断転載は固くお断りします。

RITTOR MUSIC JULY 2015 PRINTED IN JAPAN

© 2015 Toshiro Miyawaki

© 2015 RITTOR MUSIC, Inc.